

活動 教養 訓練

◎第一分団 荻原副分団長

今回の訓練では消防団活動で良く使う号令のかけ方のコツと重要性。防火衣を早く着るためのコツと繰り返しの訓練が大事なこと。

そして、技術知識を習得した団員が、その内容を仲間へ情報共有することの大切さを学ぶことができました。

操法や規律訓練以外の今回のような基本的な訓練は実災害に即した内容であり、今まであまり無かったのでとても勉強になりました。

街を知り、街を守っていく事が消防団の最重要任務であると再確認し、今後も訓練に取り組んでいこうと思えました。



◎第一分団 岩田部長

今年度から新しい取り組みである実災害教養訓練に参加しました。これは、震災時等有事の際には、消防団単独で災害対応できるようにするための訓練です。

その中で『個人装備着装要領』という項目がありました。

普段の活動服から完全装備の防火衣を着装するのですが、一分以内に着装することを目標に訓練しました。

消防団活動歴が約二十年ということもあり、かなり自信はあったのですが、実際にやってみると一分を切るまで六回も掛かってしまいました。

我々消防団員は、災害時には現場に出勤することが前提なので、非常に有用な訓練であると感じました。また、何事も、実際にやってみるとわかることもあるのだと、気が付きました。今後も、積極的に訓練に励みます。



千代田区内三署合同水防訓練



五月二十四日、北の丸公園第三駐車場において、千代田区内の消防署、消防団、鉄道業者、国土交通省、千代田区等による地域合同水防訓練が行われました。

河川の越水、地下施設への浸水、マンホールからの噴出などの、水害を防止するため様々な工法訓練が行われました。

台風や、ゲリラ豪雨等が多発する時期を前にしての訓練でしたので、土気旺盛で緊張感ある訓練となりました。

本年は甚大な被害をもたらした狛江市での多摩川水害から五十年の節目です。本訓練を通じて、水災への意識向上に期待します。



編集：麴町消防団
後援：麴町消防署消防団



麴町消防団だより

麴町消防団員募集

今あなたの力が必要です。

この街を、私たちが守る

ご連絡をお待ちしています！

問合せ窓口

麴町消防団事務局
(麴町消防署内)

電話 03-3264-0119

平日 午前9時～午後5時



麴町消防団
ホームページ

山王日枝神社例大祭 消防特別警戒

本団 石井副団長



六月八日、山王日枝神社例大祭「糺町惣町睦会統一行事」が六年振りに執り行われた上町氏子町会の連合宮入の警戒にあたりました。表参道にあたる五三段的の山王男坂下から提灯行列と、神輿を一緒に担ぎ上げる光景はまさに圧巻ではありますが危険も伴います。我々の任務は、神殿前で神輿を納めるまでの提灯内火の防火警戒及び傷病者発生時の応急救護対応でしたが、事故もなく無事に終えたことに安堵しました。また、今年度も二名の日枝神社神官が入団し訓練等に従事しております。

ちよだスプラッシュ日テレ盆踊り警戒

第一分団 小野なりこ団員



お疲れ様でした

◎地域イベント支援

七月二十七日、麴町小学校校庭で初開催の『ちよだスプラッシュ』。参加者にポンプ操作をご覧いただき、簡易プールへの充水を実施しました。大人も子供も、間近で見ると放水が大興奮！オープニングから大盛り上がりでした。小会場で消火器取扱訓練、積載車や団員との記念撮影、酷暑の中、防火衣を着ての撮影等、参加者全員が楽しみながら防災体験に参加してくれました。皆さんの防災に対する意識が向上したのではないかと感じました。また、実施中に消防団の紹介、団員募集のアナウンスも適宜入れてくださいました。災害対応だけでなく、消防団を地域の皆さんに知っていただき、よき理解者を増やすことができ、有事の際の協力者が増える事に繋がりました。

◎日テレ盆踊り警戒

八月二・三日の二日間の警戒でした。小さい子供から、高齢の方まで、幅広い来場者で大賑わいでした。熱中症やけが人もなく、安全第一で楽しい地域イベント支援でした。微力ではありますが、ありますが、今後とも地域の皆様の役に立てるよう精進するとともに、積極的に行事に参加しようと思えました。

令和6年度消防団操法大会

第二分団 那知団員



今回、麴町消防団第二分団一番員で出場させていただきました。那知昌春です。現在、姉、兄、私の兄弟三人で消防団をやらせていただいています。最初は兄弟の中で、麴町消防団消防操法大会に出場し、自分だけ金メダルを持つていないという小さなきっかけではじめた消防操法でした。しかし、やればやるほど奥深く、難しく、何といても楽しくて、訓練期間中は消防操法の訓練が自分の日常の一部分となり、訓練が当たり前に感じられるようになりました。訓練期間の終わった今の方が打ち込む事がなくなり、時間を持て余してしまい、頭を悩ませています。今回麴町消防操法大会で優勝させていただいた経験を糧に操法の都大会優勝を目指して練習に励んで行くとともに、有事の際には迅速に放水できるように、来年も頑張りたいと考えています。



第三分団



第二分団



第一分団

靖國神社みたままつり警戒

第三分団 吉川団員

七月十三日、靖國神社みたままつりの警戒に参加しました。

二十時になっても、気温が三十一・三度と酷暑の中、湿気が多く熱中症が心配される天候でした。警戒中に若い女性が友人に付き添われて軽い熱中症で救護テントへ来ました。

消防職員の方や団員達で、水分補給などできばきと処置をされ、しばらく安静にすると、体調は回復していききました。

更に若い男性がやはり熱中症でテントへ来ました。意識はしっかりしていましたが、全身のしびれを訴えており、救急搬送するかどうか迷うほどの症状がありました。水分補給だけでなく、体幹を冷却したり体位管理を継続した結果、歩いて帰宅できるまで回復しました。

今回、初めて警戒への参加でしたが、暑い季節のセルフケアと、体調不良の際にちよつと安静に休める救護テントの必要性を改めて認識するとともに消防団の重要性を再確認しました。



富士見夏祭り警戒

第三分団 山口団員

七月二十日(土)、千代田区立富士見小学校で開催された夏祭りに出動し、イベントの締めくくりに可搬ポンプによる放水を実施しました。会場は、放水に大喜びする子どもたちの笑顔と歓声に包まれ、盛況のうちに無事終えることができました。

今回のイベントを通じて、消防団への興味を持ったたり、防災意識への関心が少しでも寄せられたりすることで、将来防災のリーダーとして消防団を盛り上げてくれることを思うと今から非常に楽しみです。

今後も、このようなイベントに積極的に参加し、麴町消防団の活動について知っていただき、一人でも多く入団してもらい、ともに消防団活動ができる仲間が増えることを願っています。